

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ビープラスⅡ			
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～	令和7年 3月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21世帯	(回答者数)	18世帯
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		～	令和7年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	食育に向けた様々な取り組みの充実	・学校休の取り組みとして、基本昼食はお子様達で意見を出し合い、必要材料の検討、買い出し、調理、食事、片付けまで全て自立に結び付けた内容として食育活動を取り組んでいる。 ・月に一回参加しているこども食堂にて、衛生面、管理など食に対する意識向上とともに、実際に食事提供の為の仕込み、接客などを取り組んでいる。	・週一回でのこども食堂は利用希望の要望が高く、ニーズが現在かなりあるので、今後の拡充の為、月に2回の開催を検討している。
2	就労や自立に向けた訓練や、職業体験による就労への意識を向上出来る支援の強化	・地域の職場体験などを長期休暇中に活動として取り入れる事により、実際に就労する前に経験を積んでおく事で、将来どんな仕事にご自身が就けるのかビジョンが広がるよう支援を通してスキルアップをしてもらえる取り組みを行っている。	・現在就労先で考えられる就労B型の見学体験や、職場体験での活動を増やしているが、今以上にその職場体験が出来る所を増やしていけるよう地域企業様などを模索している。
3	個々のニーズに合わせた個別支援計画を作成 (高学年対象の事業所の為、ご本人のニーズも重要視)	・主に中学生、高校生の在籍が多い為、進学についてのお悩みや、就労先についてのお悩みなど、将来について重要な選択肢を必要としているケースが多い為、オープンキャンパスの検討や引率、直接的なお手伝いを行ったりしている。またそのニーズをご本人と面談をしご本人の意志決定を基に、計画書に落とし込む工夫を行っている。	・就労先についての繋がりがまだ少なく、今後は積極的に移行先の幅も広げながら個々のニーズにより対応出来るよう取り組んでいきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習面の活動が支援の主体ではない。	・基本的には自立に向けた訓練や個々の個別課題、集団活動でも学習面での活動より、食育に特化して活動カリキュラムを作っている為、学習面でのサポートを希望されると、ニーズの差異が出てきてしまうので、幅広いニーズに対応出来るようにしたいと考えている。	・学習面でのサポートとしては職員教育も必須となり、学校のカリキュラムに沿った指導方法が必要となるので、学校とのやり取りを今後は更に強化して取り組む必要がある。
2	他事業所との関わりが少ない。	・併用しているお子様はおられるが、職員が関わりのある他事業所の情報（支援内容など）を知らない事がある。	・併用されているお子様の事業所だけではなく、他事業所についての取り組みを知る為に見学などの機会を設け、自施設での取り組みを今一度再認識し、より良い取り組みに繋げたい。
3	保護者が無い（または分からないと回答）と思われている。	・今年度の夏に開催した保護者会（研修会）以降に新規利用のご家庭が増えたという事もあり認知されていない事も要因として高察された。	・定期開催として年1回の保護者会を実施していく予定だが交流の機会はこども食堂だけではなく、長期休暇などの機会を実施し、なるべくご家族が参加しやすい日程の候補を考えながら、年に数回は保護者会の実施を検討したい。